

グラフで見る東海経済(2021年10月)

2021年10月27日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～持ち直しが一服

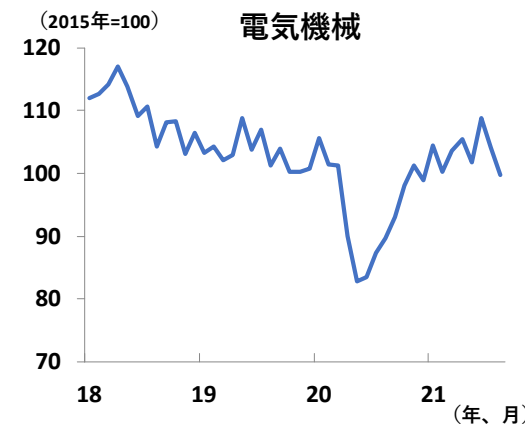
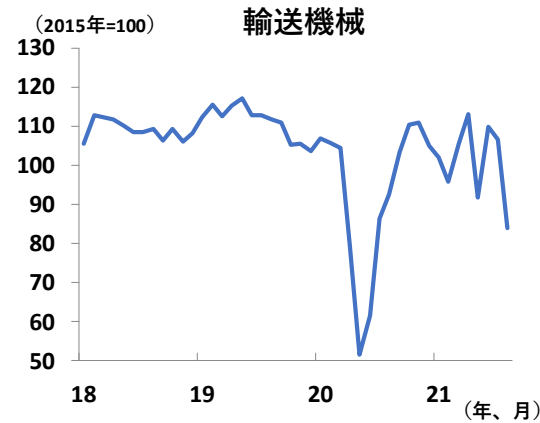
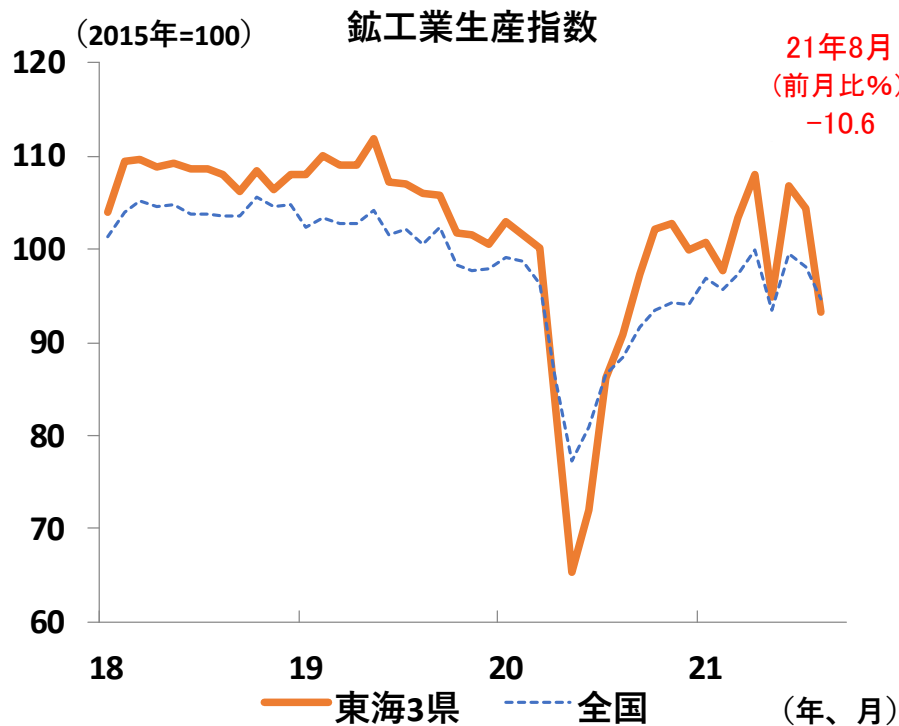
【今月のポイント】

- 生産(8月)は、2ヶ月連続で減少。部品調達難による輸送機械の生産調整の影響で足踏み状態となっている。
- トヨタの国内生産は、9、10月に大幅減産の後、9月を底に11月以降の挽回を見込む。
- 名目輸出(9月)は、自動車の生産調整により7ヶ月ぶりに前年比で減少。
- 8、9月の個人消費は、コロナ感染による人流抑制で総じて弱含み。
- 住宅投資はこのところ前月比、前年比ともに増加が続いている。

項目	現状
景気全般	持ち直しが一服
生産	足踏み状態
輸出	足踏み状態
設備投資	持ち直しの動きが見られる
雇用	横ばい圏で推移している
賃金	減少している
個人消費	弱含んでいる
住宅投資	持ち直しの動きが見られる
公共投資	横ばい圏で推移している

生産

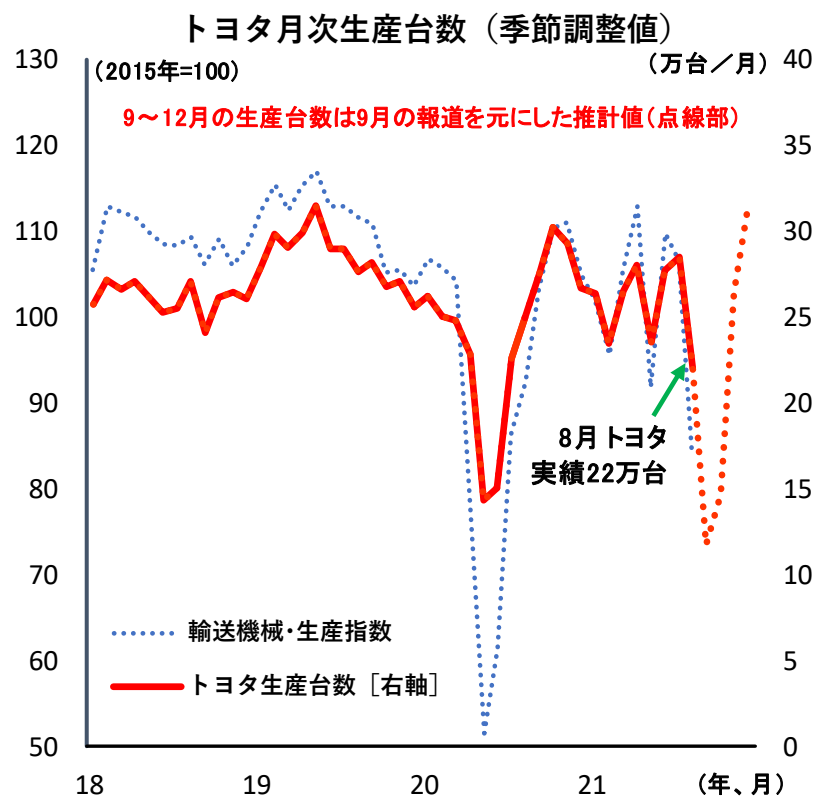
8月の鉱工業生産(東海)は前月比-10.6%と2ヶ月連続の減少となり、マイナス幅が拡大した。部品不足で生産調整をおこなっている輸送機械が大幅減となり、全体を引き下げた。輸送機械の先行きについては、トヨタ自動車の生産計画によると、9月をボトムに持ち直しに転じ、年末にかけて急回復が見込まれている。東海の実業全体についても同様の推移が見込まれる。



(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

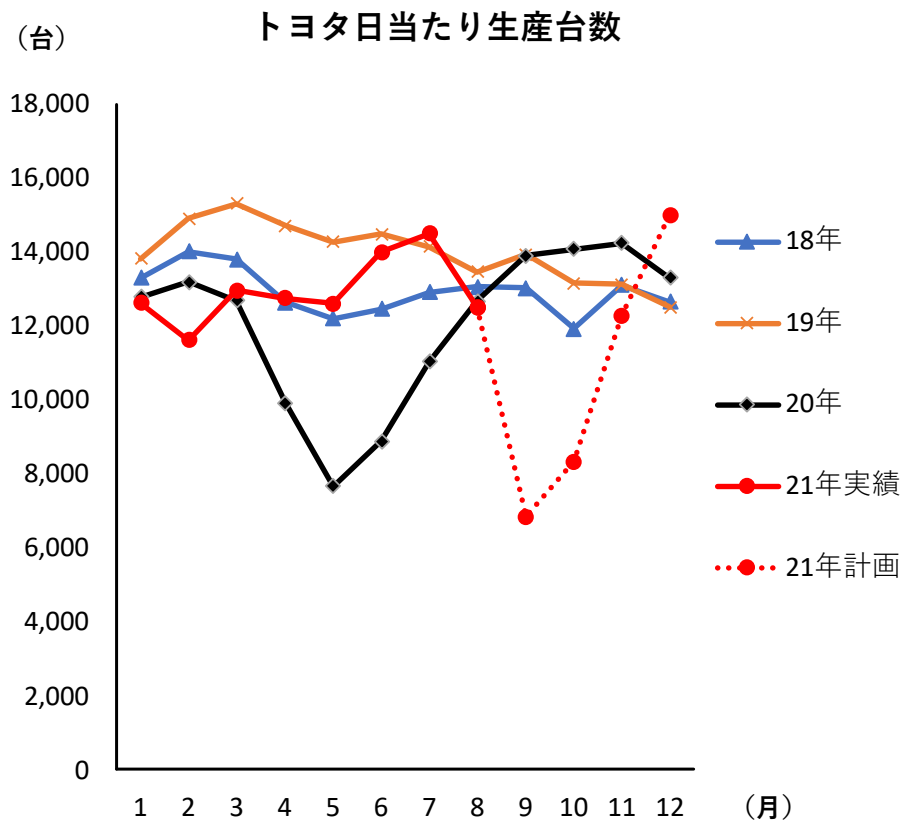
生産（トヨタ生産計画）

8月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は22万台。先行きは東南アジアのコロナ感染拡大による部品調達難から9、10月に大幅減産の後、9月を底に11月以降の挽回を見込む。



(注)トヨタ生産台数の季節調整はMURC試算、輸送機械・生産指数は東海3県のもの

(出所)中部経済新聞、鉄鋼新聞、中部経済産業局「鉱工業生産指数」

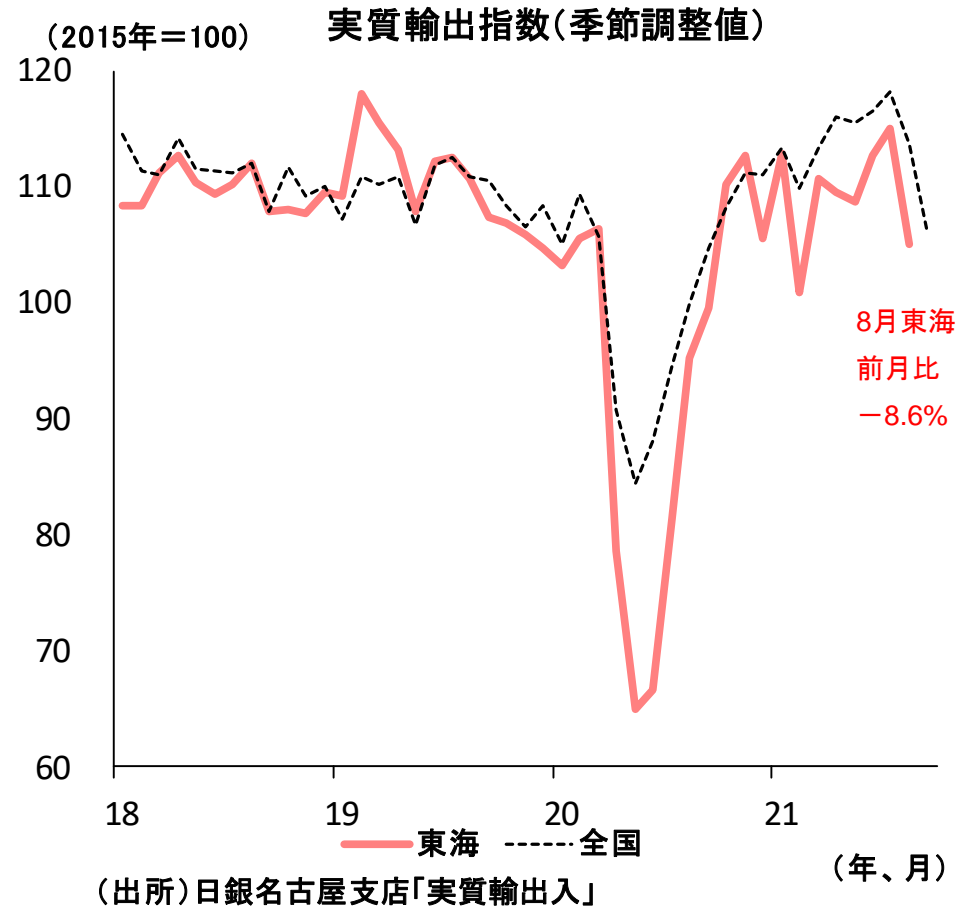
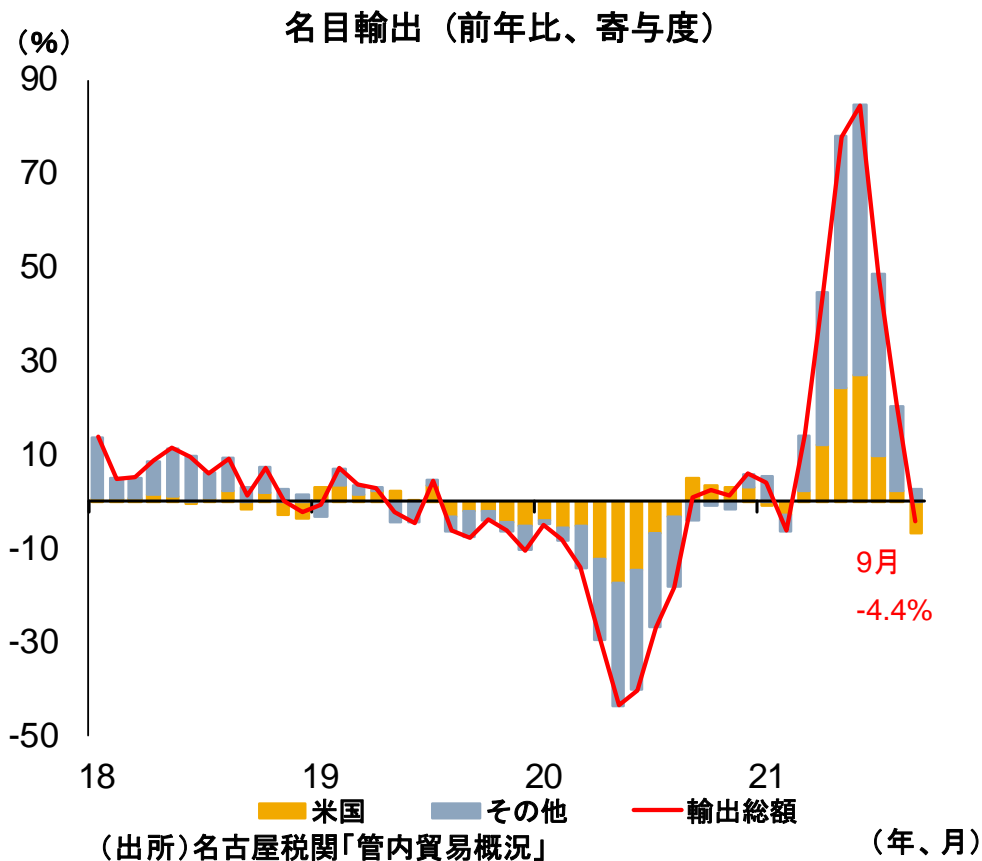


(出所)トヨタ自動車HP、中部経済新聞、鉄鋼新聞

輸出

9月の名目輸出額は、前年比-4.4%と7ヶ月ぶりに減少した(一昨年比では2ヶ月連続で減少)。地域別ではアジア向けは増加したが、米国向け、欧州向けが減少。品目別では部品不足による生産調整のあった自動車が同-43.2%と大幅減となり、これが全体を引き下げた。

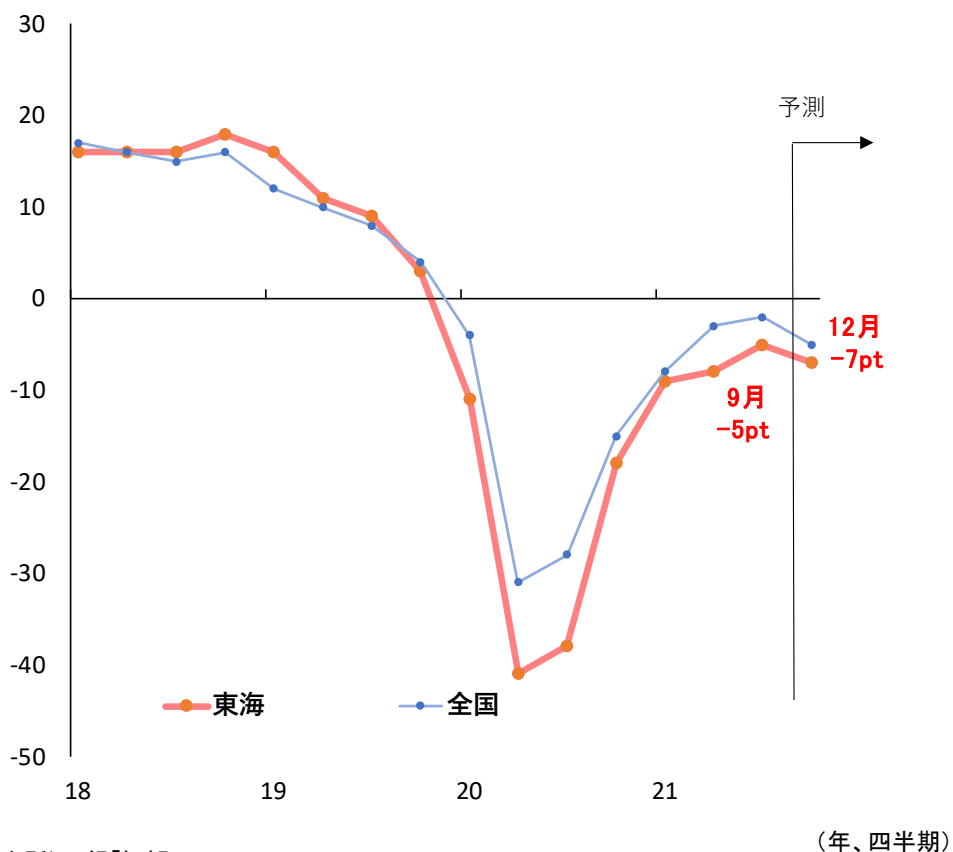
8月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-8.6%と3ヶ月ぶりに低下した。



企業景況感(日銀短観)

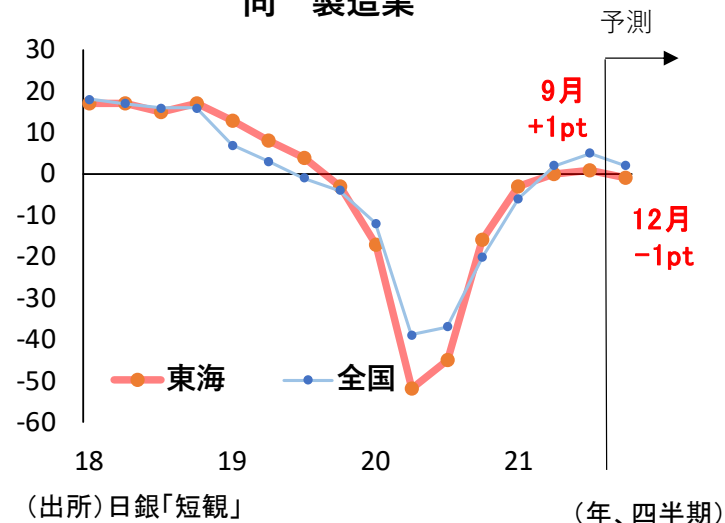
日銀短観9月調査の業況判断DIIは全産業で-5ptと6月調査から改善した。製造業は+1ptと小幅改善して「良い」超に、非製造業は-11ptと「悪い」超ながら改善したが、宿泊・飲食サービスなどは厳しい状態が続いている。先行きは、製造業、非製造業とも小幅悪化が見込まれている。

短観 業況判断DII「全産業」



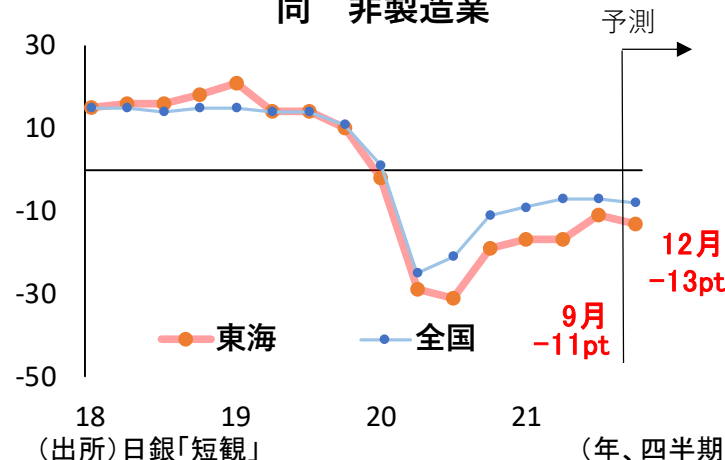
(出所)日銀「短観」

同 製造業



(出所)日銀「短観」

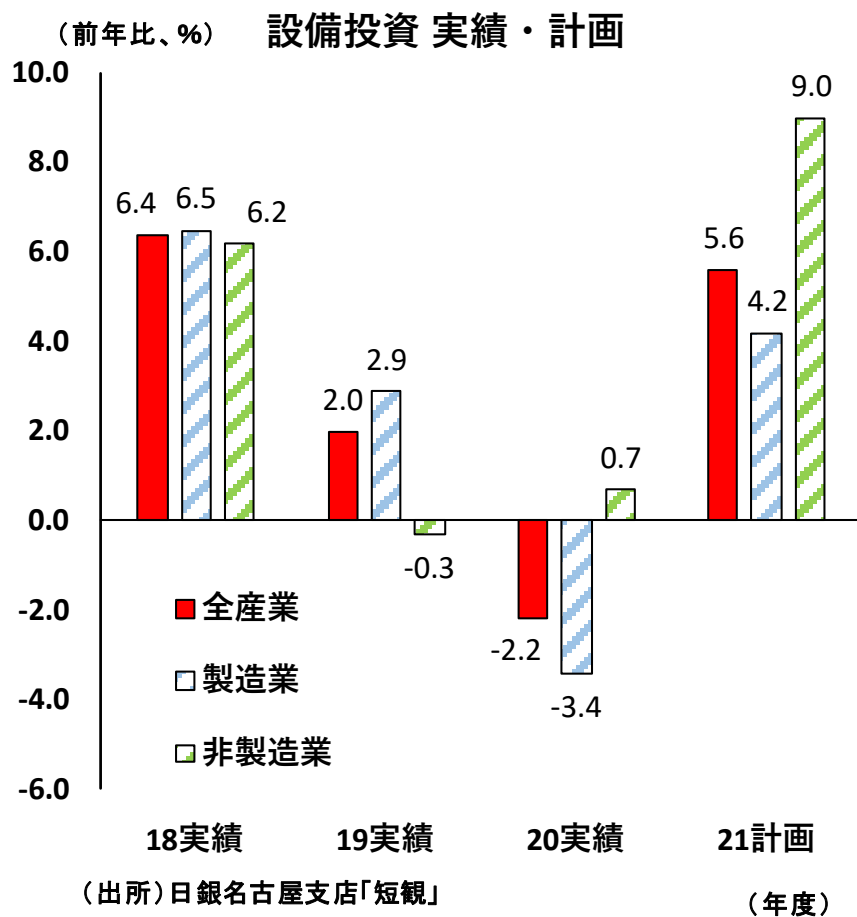
同 非製造業



(出所)日銀「短観」

設備投資

日銀短観9月調査によると、21年度の設備投資計画は、製造業が前年比+4.2%と6月調査時と変わらず、非製造業は同+9.0%と6月調査時から小幅増加した。業種別では、対事業所サービス、不動産、情報通信などで大幅増が見込まれている。



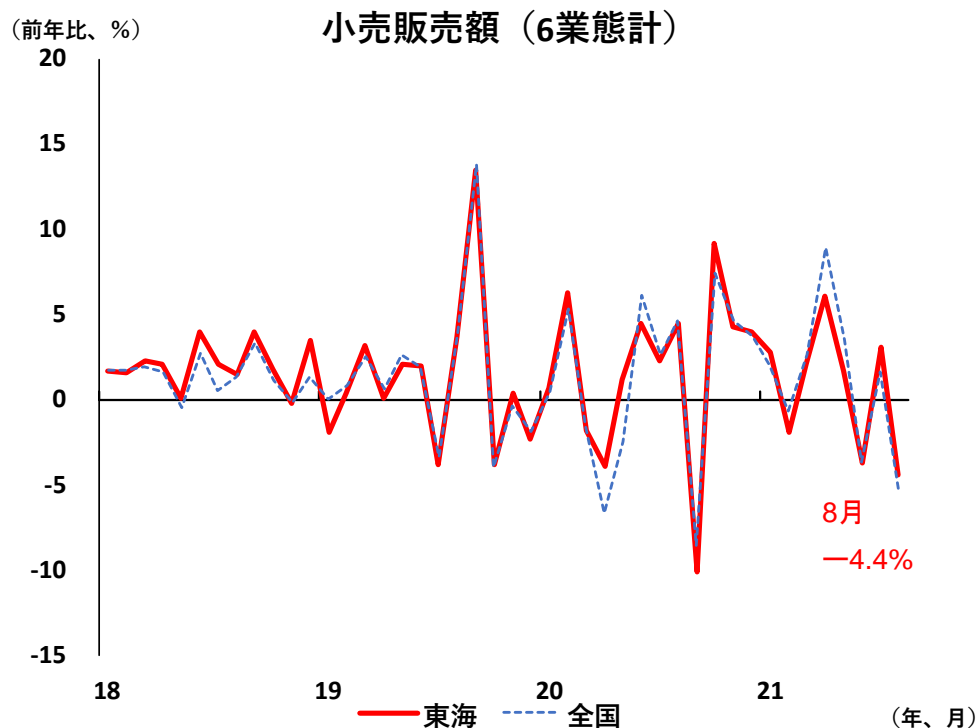
設備投資額 (前年比%)

	20年度 実績	21年度 計画		
		今回	6月調査時 [差異]	
全産業	-2.2	5.6	5.3	0.3
製造業	-3.4	4.2	4.2	0.0
非製造業	0.7	9.0	8.0	1.0

個人消費(小売売上、自動車販売)

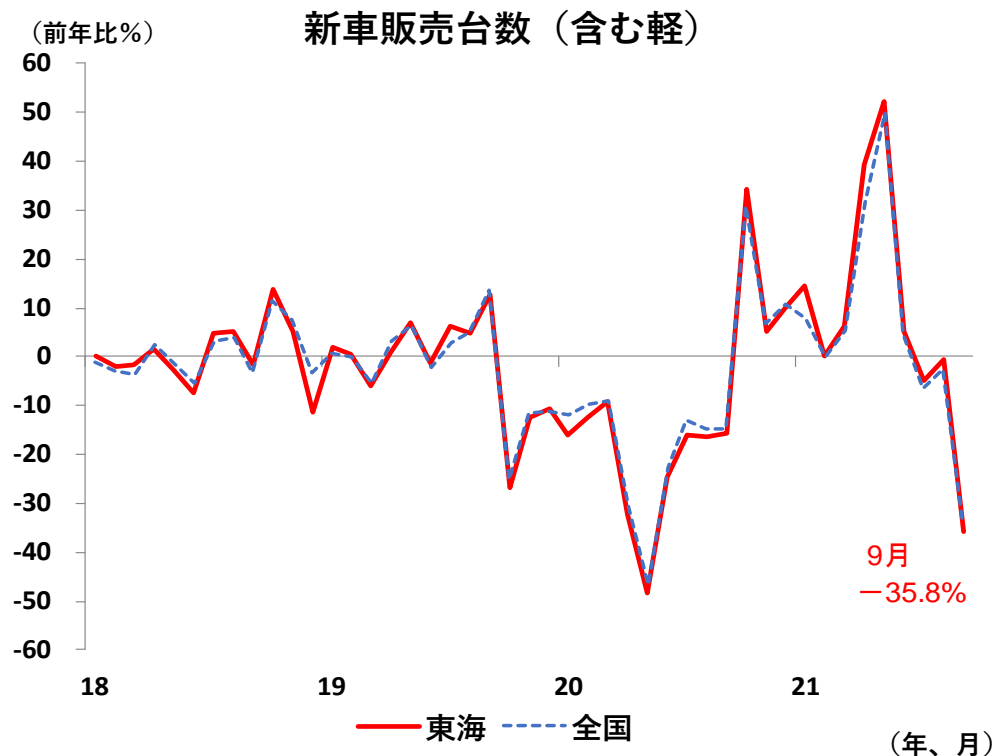
8月の小売販売額は、コロナ感染拡大による人流抑制により前年比-4.4%と2ヶ月ぶりに減少した(一昨年比では-0.1%)。

9月の新車販売は、半導体の供給不足による生産調整により前年比-35.8%と3ヶ月連続で減少、マイナス幅も大幅に拡大した。一昨年比でも-43.1%と大幅減となった。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



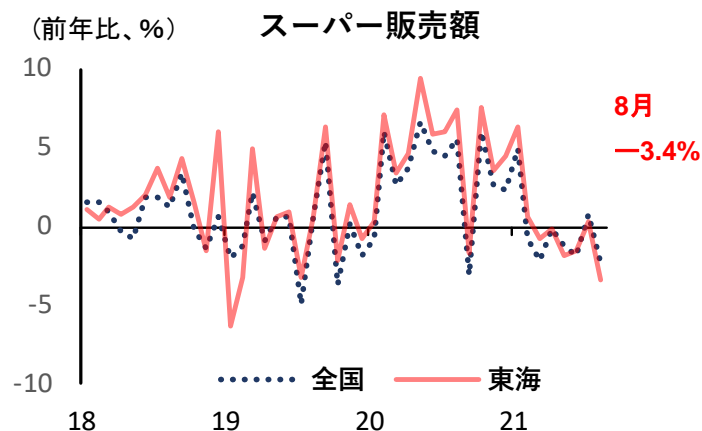
(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

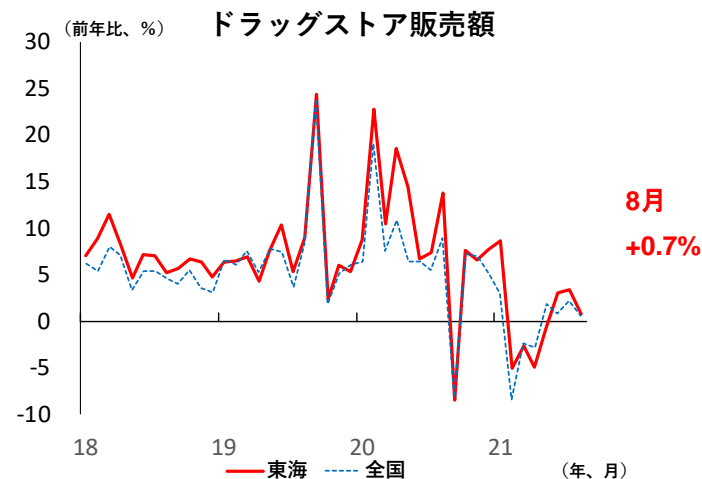
個人消費(業態別)

8月の小売販売(東海)を業態別にみると、新型コロナ感染の急拡大、緊急事態宣言の発令もあってドラッグストアを除く業態で前年比マイナスとなった。

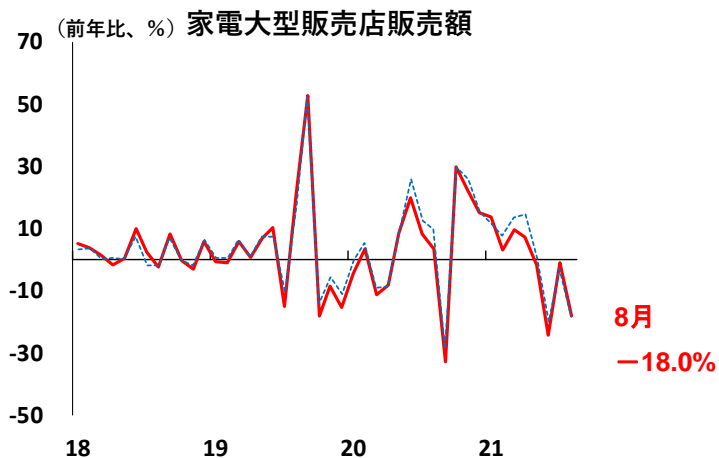
9月の百貨店売上(名古屋)は前年比-7.0%と3ヶ月ぶりに減少。一昨年比では-40.7%と減少が続いている。



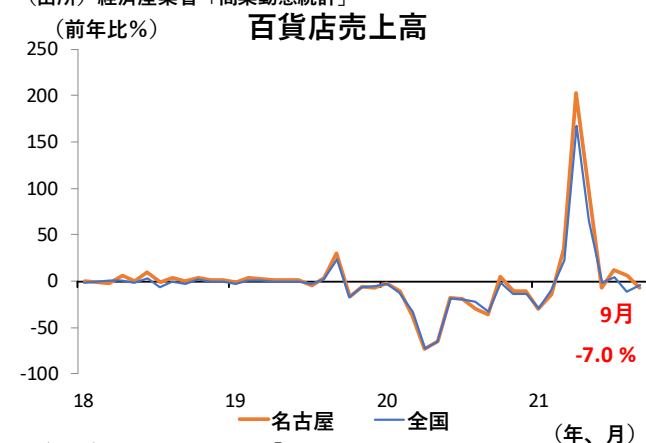
(出所) 経済産業省「商業販売動態統計」 (年、月)



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

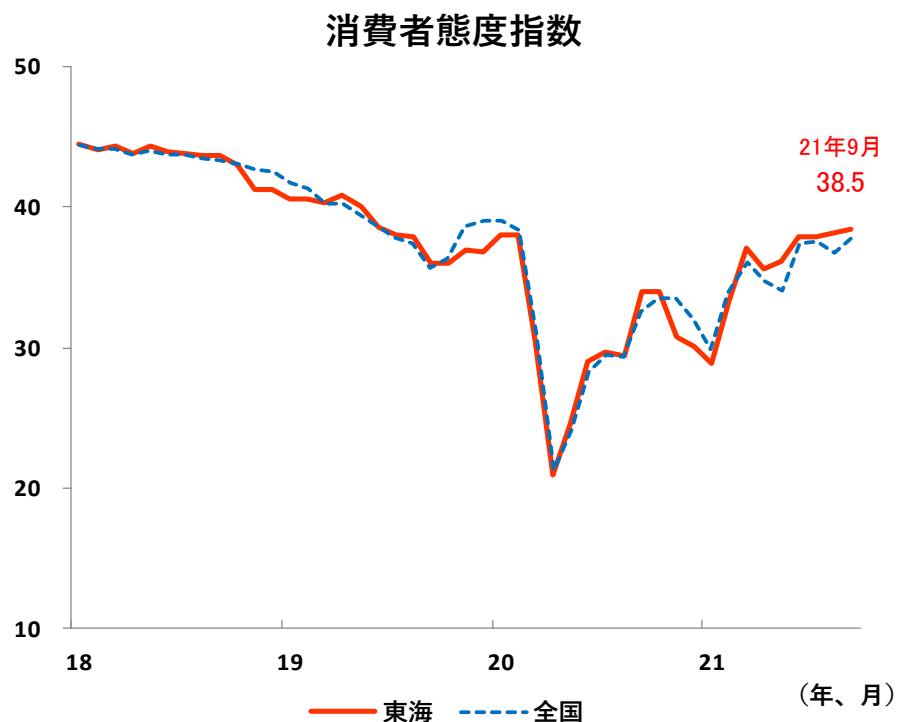


(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

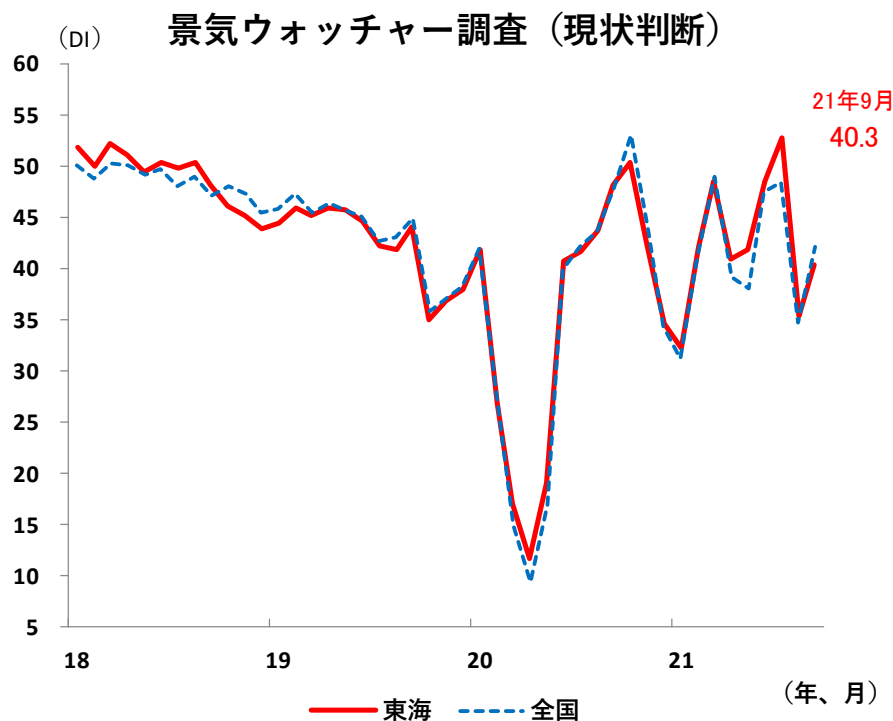
(注) 店舗調整後前年比

マインド・景況感

9月の消費者態度指数は38.5(前月差+0.4%pt)と5ヶ月連続で上昇した。
9月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、40.3(前月差+4.9%pt)と2ヶ月ぶりに上昇した。新型コロナ
ナ新規感染者数が減少し緊急事態宣言の解除がみえてきたことにより家計動向関連で持ち直しの動き
がみられた。



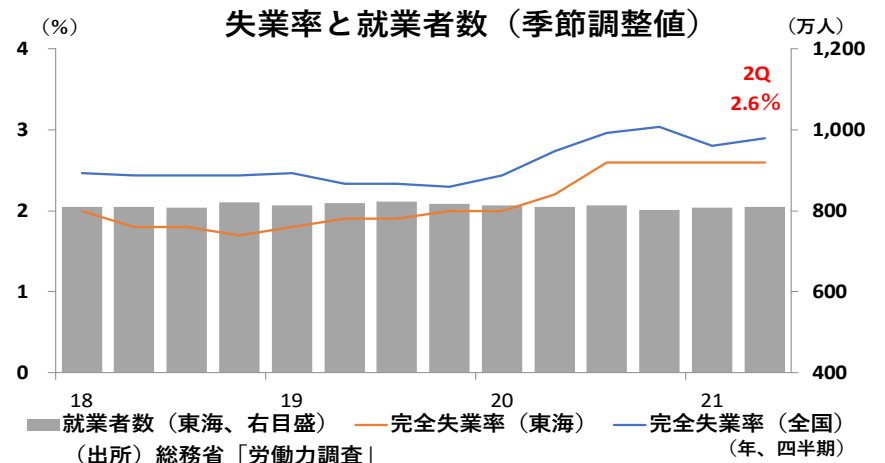
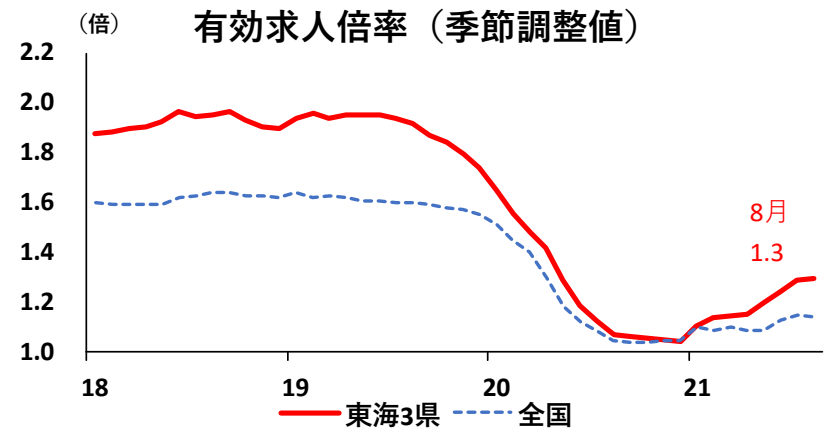
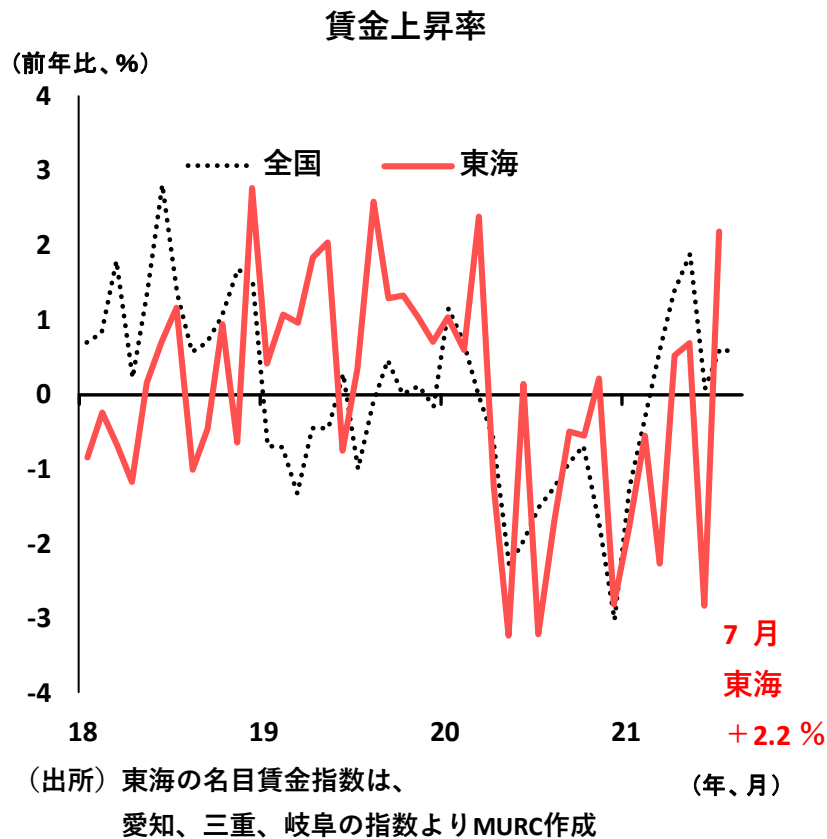
(注)東海の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

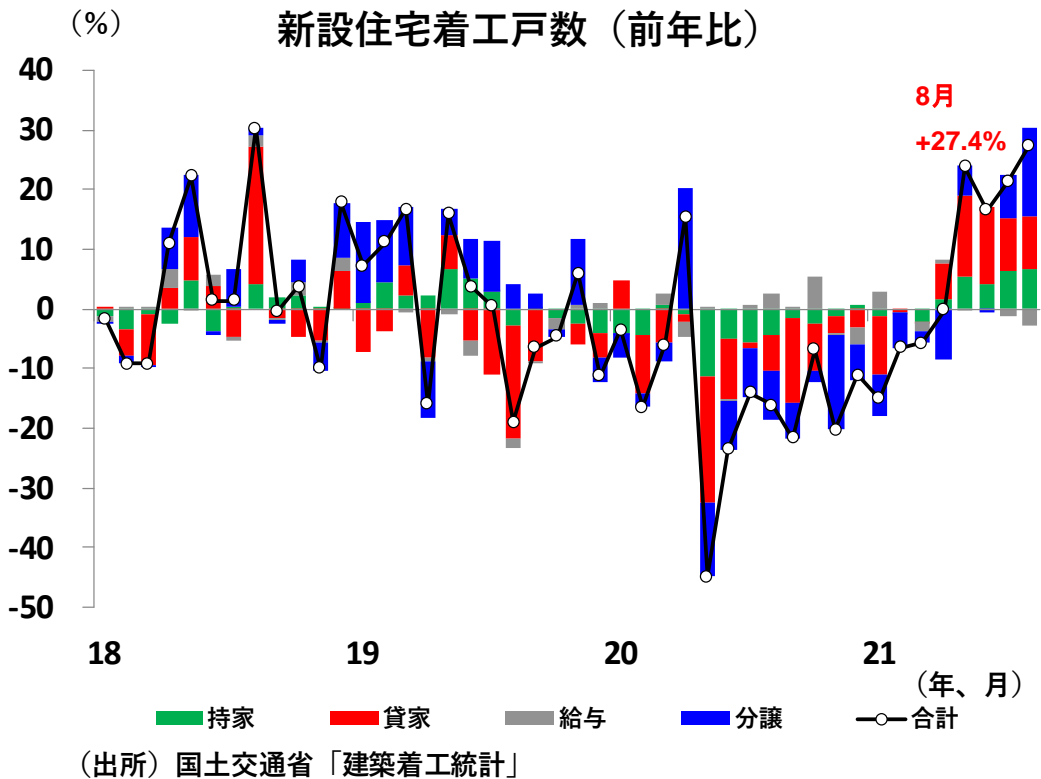
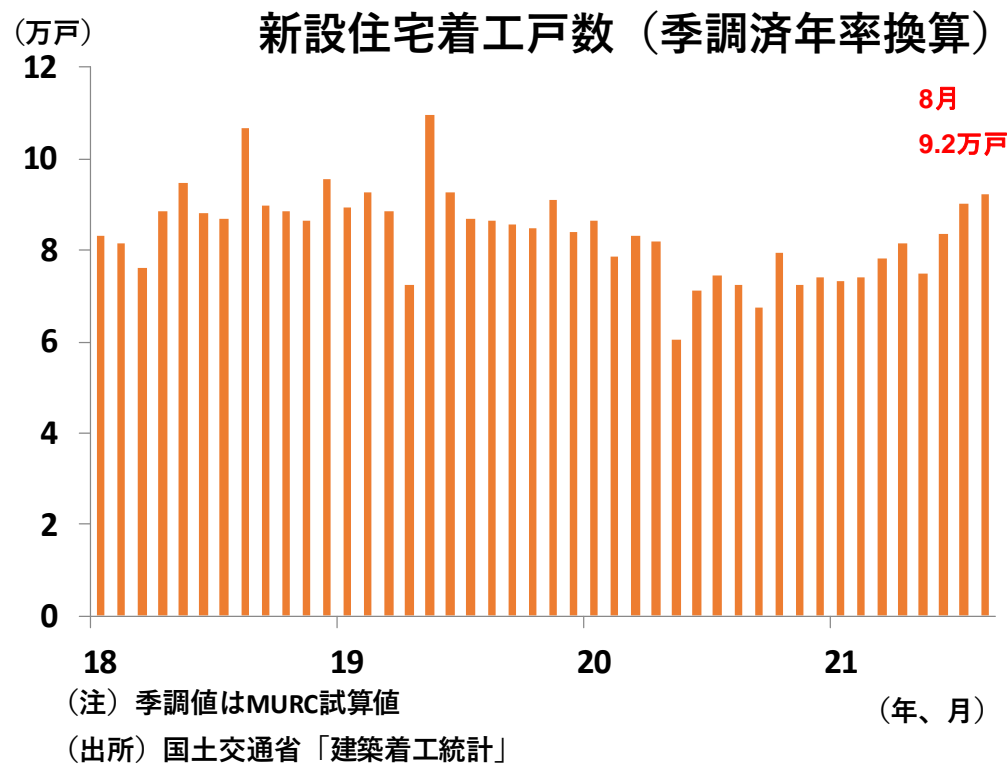
賃金・雇用

7月の名目賃金は、前年比+2.2%と2ヶ月ぶりに増加したが、一昨年比では減少が続いている。
 8月の求人倍率は1.3と、このところ小幅ながら上昇が続いている。
 21年4-6月期の失業率は2.6%と横ばい。就業者数は小幅増加した。



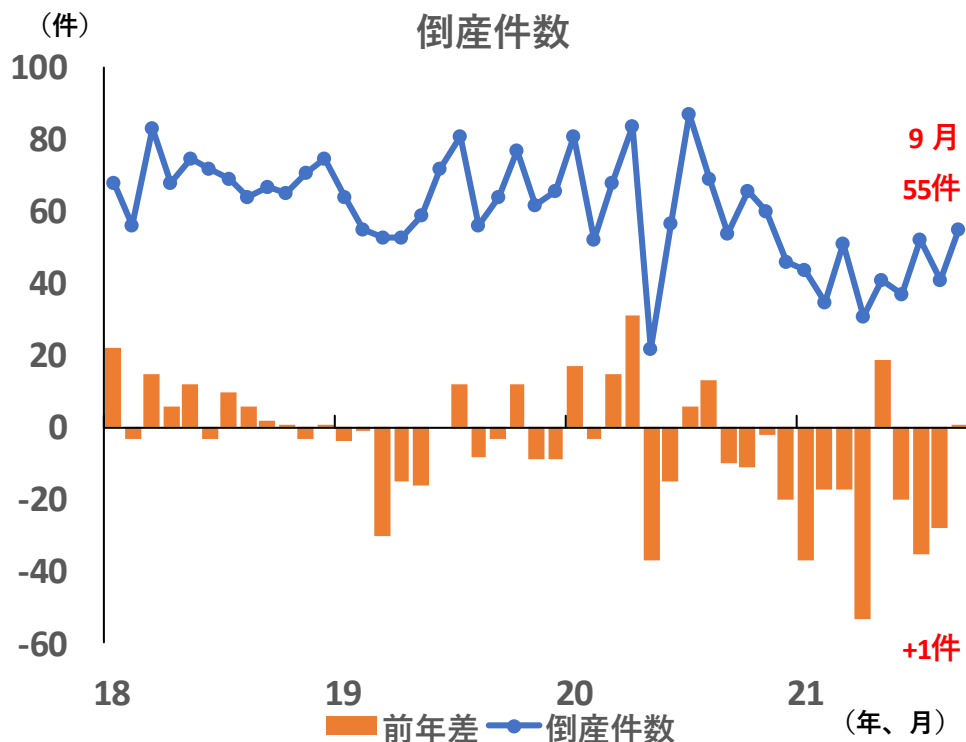
住宅投資

8月の住宅着工は季調・年率で9.2万戸と3ヶ月連続で増加した。原数値では前年が低水準であったため前年比+27.4%と大幅増、一昨年比でも+6.9%と増加した。



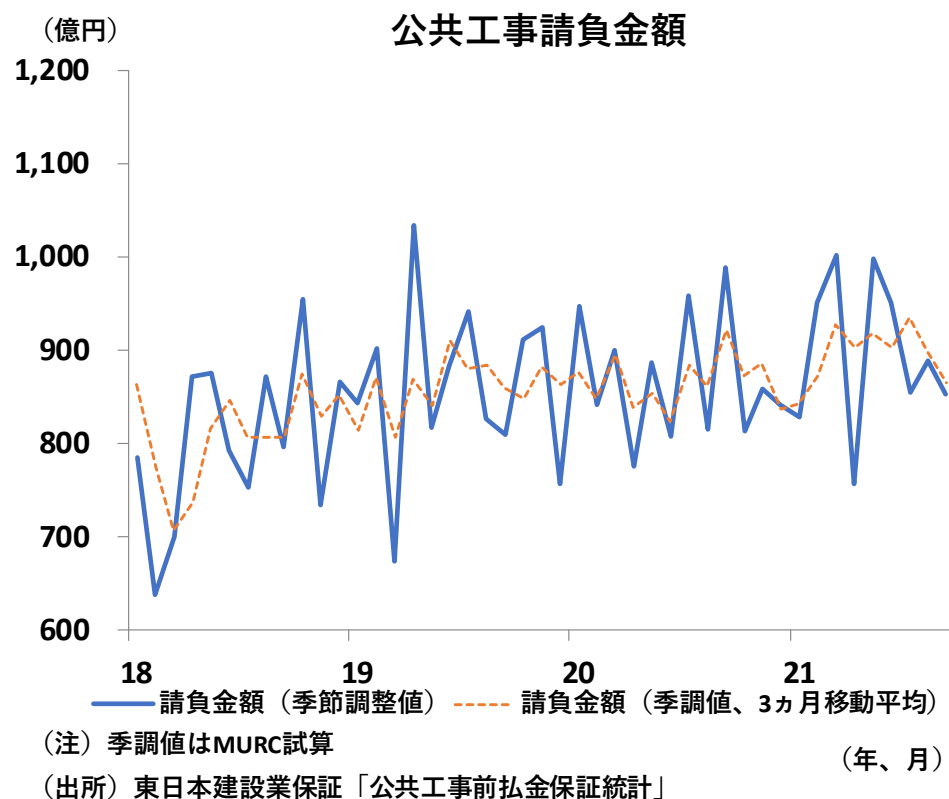
倒産

9月の倒産件数は55件と前年を1件上回ったが、低水準で推移している。



公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください